

蔵書紹介

旧大橋図書館を 知っていますか？

Part 1 図書館の設立

4月1日[金] ~ 28日[木]

旧大橋図書館（1902-1953）は、明治を代表する出版社「博文館」創業者の大橋佐平が設立を志し、息子の新太郎により設立された私立図書館です。

多岐にわたる所蔵資料は子どもから大人まで幅広い層に利用され、三康図書館に引継がれています。2022年は旧大橋図書館が開館し120年という節目を迎えます。

6月に開催する記念講演会をはじめとして、様々なテーマで所蔵資料の魅力を知ることができる記念事業を開催いたします。

4月から6月までの蔵書紹介では旧大橋図書館の歴史を3つのパートごとに紹介します。

Part 1 は、旧大橋図書館設立から関東大震災までの出来事がテーマです。

場所：三康図書館 閲覧室内
ブックトラック

閲覧室内の
蔵書紹介と
特集コーナーは、
自由にご覧いただけます
(無料)

閲覧席は100円で
1日中ご利用できます

<今後の予定>

Part 2 5月2日-31日 震災復興から戦後へ
Part 3 6月1日-30日 閉館、そして三康図書館へ



公益財団法人 三康文化研究所 附属
三康図書館
SANKOLIBRARY